

事務事業名	まちづくり懇談会事業		所属部局	秘書課	単位番号	1013	
	☐ 実施計画事業		所属課室	秘書課	課長名	飯野多恵子	
			所属担当	広聴広報担当	担当者名	名取めぐみ	
基本政策	基本計画	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項
	03	地域ネットワークの充実		01	一般	02	01
施策	05	市政への直接参加システムの構築	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度)		法令根拠	なし			
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市長と市民と対話集会(年度によって実施方法が異なる)		事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)			
概要	平成22年度実績なし 平成23年度実施方法検討中(予算請求なし)						
				計 0			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

活動	
22年度活動実績	なし
23年度活動予定	未定
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市が行なっている事業について知る 要望・意見・提言を検討し、事務事業に反映する	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民が地域活動を活発に行なう。 市の施策に満足する。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 開催回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加者数	人
イ 要望・意見・提言がでた件数	件
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 地域でボランティア活動を行っていると答えた市民の割合	%
イ 市民満足度調査で市の施策に満足していると答えた市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	32						
		事業費計 (A)	千円	32	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2						
		延べ業務時間	時間	800						
		人件費計 (B)	千円	3,569	0	0	0	0	0	0
		(A) + (B)	千円	3,601	0	0	0	0	0	0
	活動指標	ア 回		10.0						
		イ								
		ウ								
	対象指標	ア 人		72,933.0						
		イ								
		ウ								
	成果指標	ア 人		841.0						
		イ 件		82.0						
		ウ								
	上位成果指標	ア %								
		イ %								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併当時より、市民との協働による市政の推進を図ることを目的として広く意見をいただき、直接対話することにより、より良いまちづくりを推進していくために開催している。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	参加者数が減少傾向にある。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	懇談会のあり方や方法などについて工夫が必要ではないか。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている [内容:] ☒ 取り組みしていない [理由:]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成18年度から配布資料を手作りとした従来の方法とは別に平成20年度にテーマ座談会実施
H 22年度に実施した改革改善の内容	結果的には、事業実施がなかったため

事務事業名	まちづくり懇談会事業	所属部	秘書課	所属課	秘書課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 市長と市民が直接意見交換を行なっている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 市民の意見を聴くことは、市の施策に反映する上で必要	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 全市民を対象としているため、新体制の事業実施がまだ行われいないため評価できない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 新体制の事業実施がまだ行われいないため評価できない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 事業に対する市民の要望が根強い	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 市長の主要施策に対する継続意向が強い事業ため。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 新体制の事業実施がまだ行われいないし、予算措置がないため評価できない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 新体制の事業実施がまだ行われいないため評価できない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 公平・公正である 【理由↓】 全市民を対象としているが、新体制の事業実施がまだ行われいないため評価できない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	21年度まで実施したまちづくり懇談会は、今年度から内容を見直しをして膝詰め談義的な会にして、要請があったところに出かけていくという方向で実施する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						